

令和3年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和3年度に実施された「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)」の事業について、「農山漁村振興交付金(地域活性化対策)実施要領」(令和3年4月1日付け2農振第3780号農林水産省農村振興局長通知)第18の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和3年度に交付金事業を実施した北海道内の5地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が5地区との評価結果となった。

3. 各地区の評価結果

●地域活性化対策

6件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				H30	R元	R2	R3	R4		
本省	北海道	中標津町	なかしべつグリーンツーリズム推進協議会	●	●	■ ▼	▲	△		(R2年度に事業は完了しているが、引き続きの重点指導対象となっており、今年度は昨年度の重点指導の結果報告のみ。)
本省	北海道	更別村	更別村スマート産業イノベーション協議会	△	●	●	● ■	△	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
本省	北海道	旭川市	西神楽地域活性化対策協議会	△	●	●	● ■	△	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
本省	北海道	岩見沢市	岩見沢市スマート定住促進協議会	△	●	●	● ■	△	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
本省	北海道	斜里町	斜里町スマート定住推進協議会	△	●	● ▼	● ■ ▲	△	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。
本省	北海道	興部町	おこっぺ地域活性化協議会	△	△	●	●	○ □	A	総合的に目標の達成状況が優良と認められる。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)
重点指導 ▼…重点指導(通知) ▼…重点指導(通知済み) △…重点指導(結果報告予定) ▲…重点指導(結果報告)
(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

4. 第三者機関の意見聴取

農山漁村振興交付金交付等要綱第7の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:大江靖雄(東京農業大学教授)
委員:市田知子(明治大学教授)、加藤由紀子(北海商科大学非常勤講師)、木村宏(北海道大学教授)、森久美子(作家・拓殖大学北海道短期大学客員教授)

【令和4年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 :令和4年7月22日(金) 13:15～17:15 2 場 所 :農林水産省三番町共用会議所大会議室 3 議事概要 ① 令和4年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について説明を行い、了承を得た。 ② 令和4年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和3年度に事業を実施した5地区について、取組概要、評価案及び総合評価が低調と認められる地区に対する重点指導案に関して説明し、 質疑応答を行った。 また、今年度の評価対象外ではあるが、昨年度に重点指導対象となっていた1地区について、重点指導結果に関して説明し、質疑応答を行った。 4 主な意見 なし。
第2回評価委員会
1 日 時 :令和4年8月10日(水) 8:45～11:00 2 場 所 :グリーンパークしんとつかわ2F会議室(北海道樺戸郡新十津川町字総進189-1) (【本省WEB会場】農林水産省農村振興局第5会議室(南別館No.717)) 3 概 要 ・第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案 令和3年度に事業を実施した5地区及び昨年度に重点指導対象となっていた1地区に係る評価結果等について改めて説明し、了解を得た。 4 主な意見 なし。

(参考)令和2年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 重点指導結果

事業実施主体名: なかしべつグリーンツーリズム推進協議会

令和4年7月15日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
北海道 中標津町	平成30年度	活動計画策定事業	ロングトレイルを活用した収益事業モデル確立に向けた取り組みを地域が一体となり推進する。この取り組みを入口に中標津町が誇る酪農産業の魅力を広く知らしめる可能性を持つ、ロングトレイル「北根室ランチウェイ」を重点観光資源として、更なる活用を目指す。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

新型コロナウイルス感染症拡大抑制のための自粛要請や緊急事態宣言の影響により企業研修プログラムの予約が取消になったことで、企業研修プログラムの実施と付随する他の取組を断念せざるを得なくなった。また、北根室ランチウェイの管理者が、北根室ランチウェイを完全閉鎖となってしまうため目標値を大幅に下回る実績となった。

これまで国費を投じてきたロングトレイルの活用をベースとした地域活性化事業を推し進めてきたことを考慮し、これまでどおりロングトレイルの活用を地域活性化の第一義として、北根室ランチウェイの復活やその他のロングトレイルの活用の可能性を模索し、関係機関と連携しながら新たなスキームの構築と体制整備を行うことで、ロングトレイルを活用した地域活性化事業の再起を図ること。

2. 低調と評価された要因

新型コロナウイルス感染症拡大抑制のための自粛要請や緊急事態宣言の影響により企業研修プログラムの予約が取消になったことで、企業研修プログラムの実施と付随する他の取組を断念せざるを得なくなったことや、北根室ランチウェイの管理者が、北根室ランチウェイを完全閉鎖となってしまうため目標値を大幅に下回る実績となった。

3. 目標達成に向けた方策

北根室ランチウェイの復活やその他のロングトレイルの活用の可能性を模索し、関係機関と連携しながら新たなスキームの構築と体制整備を図られたい。

今後、事業の進捗にあたり課題等が発生した場合には、その都度、農林水産省に相談されたい。

4. 改善状況

ポスト北根室ランチウェイとなる中標津町における「歩く道のあり方」について、専門家を交え協議・調整を行った。

この歩く道を後世に残していく運用体制について課題と方向性の協議を行い、歩く道の理念に基づき歩く道を管理・運用する有志者を探し、候補者を見出したところであるが、ランチウェイと周辺酪農家との軋轢の課題もあることから、慎重に復活に向けて事を進める必要があり、周辺農家との話し合いや、維持管理を行う協力者や財源確保等の調整を進めているところである。

ポスト北根室ランチウェイとなる「中標津の歩く道」の復活に向けては、管理・運営を名乗りあげる候補者が見つかったものの、ルートの設定や周辺農家の理解・協力の取得、維持管理の協力者の確保、財源の確保等と多くの課題を抱えており、一足飛びに復活とは行かないところであるが、引き続き、中標津の歩く道復活に向けて協議・調整に取り組むこととしている。

(参考)令和2年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策) 重点指導結果

事業実施主体名:斜里町スマート定住推進協議会

令和4年7月15日作成

都道府県名 市町村名	事業採択 年度	主たる取組メニュー名	取組概要
北海道 斜里町	令和元年度	活動計画策定事業、人材活用事業	町内全域におけるブロードバンド環境の整備により、デジタルディバイドを解消し、ICTを活用した効率的、高付加価値な産業を基盤に、住民生活の利便性、安全性を向上し、豊かな自然と豊かな生活環境を両立したまちづくりを推進する。

1. 評価委員会での評価コメント、目標達成に向けた指導・助言等

令和元年度から実証活動を計画していたが、新型コロナウイルスによる感染予防の観点から、一部実証活動の実施を自粛せざるを得ない状況となり、目標値を大幅に下回る実績となった。コロナ禍において活動が制限される中、計画していた取組を実施できないことはやむを得ないと考えるが、コロナ後も見据え、必要に応じて取組内容を見直しながら、投下された交付金(国費)による成果が有効に活用されることを期待したい。

2. 低調と評価された要因

新型コロナウイルスによる感染予防の観点から、一部実証活動の実施を自粛せざるを得ない状況となり、目標値を大幅に下回る実績となった。

3. 目標達成に向けた方策

今後の持続的な取組を図るためにも、関係者と連携しつつ、目標の達成に向けて取組を工夫されたい。
今後、事業の進捗にあたり課題等が発生した場合には、その都度、農林水産省に相談されたい。

4. 改善状況

事業実施にあたり、昨今の情勢(新型コロナウイルス感染症)を考慮し、関係機関と調整を行いながら計画に掲げられた取組を実施し、概ね目標を達成することができた。具体には、高校生向けICTワークショップや小中学生向けプログラミング教室等、学年単位での開催を計画していたが、学校側と調整し少人数クラスでの開催とするなど開催方法を検討し取組を実施した。